

平成29年度 第1回志摩市子ども・子育て会議議事録

日時：平成29年6月22日（木）
午後6時～午後7時30分

- 事務局 開会あいさつ
福祉事務所長 所長あいさつ
事務局 委員委嘱についての説明、委嘱状の交付（新任6名）
出席者自己紹介、（委員19名のうち、16名出席）
配布資料の説明
会長 会長あいさつ
事務局より、まず事業計画の説明を願います。
- 事務局 志摩市における子ども・子育て支援サービスの見込み量[資料1]について説明
（各担当課より事業説明）
こども家庭課 こども家庭課 [資料1-1]
健康推進課 健康推進課 [資料1-2]
教育総務課 教育総務課 [資料1-3]
学校教育課 学校教育課 [資料1-4]
生涯学習スポーツ課 生涯学習スポーツ課 [資料1-5]
会長 ありがとうございます。[資料1]より見込み量についてご説明いただきました。
また各担当課より、本年度を含めた事業説明をしていただきました。
まず、[資料1]についていかがでしょうか。委員の皆様のご意見・ご感想があれば
お伺いしたいと思います。
- 委員 [資料1] 養育支援訪問事業について質問します。平成29年度の見込みが20
8件となっていますが、4月1日現在の量がゼロとなっていますが、何故なの
かお尋ねします。
- こども家庭課 この事業の内容は、実際に家庭を訪問し何かをお手伝いする訳ですが、平成2
7年度、28年度は相談はあっても事業として実際に活用するまでには至らな
かったためです。このため今年度の数値としてはゼロとなっております。
- 委員 実際にお聞きしたことです。某小学校の担任の先生は、事情のある家庭の子
どもの自宅へ行き、風呂を洗って子どもを入浴させている事例があります。
また別な小学校では、親に洗濯してもらえないので、小学校の養護教諭が学校
で洗濯の練習をさせて、先生方が目に見えない所でとても努力してもらって
います。
私を知る限りで2校ですが、実際にはもっとあるはずですから、先生方はもっ
と小まめに事例を拾って歩いてもらいたいと思います。相談を待つのではなく。
- こども家庭課 こども家庭課に昨年度から相談業務が統合され、各種相談業務の情報連携をす
るための会議やネットワーク的な仕組みはありますが、すべての事例を把握し

ていないのが実情です。

委員 それは事務担当者が調査しなくとも、相談係の澤田さんの部門と連携し訪問するとよいのではないのでしょうか。

こども家庭課 相談担当の澤田と申します。いつもお世話になっております。
実際に小学校で対応されている事例をお聞きして、この制度の案内・周知にも努め、先生方のご協力をいただき、必要となる児童の把握に努め、この事業を普及させて行きたいと思えます。

この事業の少し難しい所は、「あなたの子育てが心配です。お手伝いできる事があればさせてもらいます。」と言った趣旨の事業です。お家の方の同意を得た上で訪問するので、「来られるのはどうも」と言うケースもあり、よく話し合いをして対応する事になります。

会長 それぞれの関係する機関ともう少し連絡を取り合って、必要であれば担当する部門が事実確認を進め、事実関係を把握する事が必要であると思われまね。

委員 資料1 (1) 教育・保育施設の量の見込みについて、人数の表示が市全体の数字であるため、できれば町別の数字で表示できれば、状況が分かりやすいのでは。例えば特定の児童館に児童が集中している事が判れば、別な児童館を選択する事もでき、児童が分散できるのではないのでしょうか。

こども家庭課 事業計画が5ヶ年計画で策定されており、今年度がちょうど中間年にあたります。策定から2年を経過して地域の現状に合わない箇所も部分的に出てきています。

この数字については、計画当初の数字と今年度4月の数字を表示してあります。今年度、見直しをかせさせていただきます、次回第2回、第3回の会議では提示できればと考えております。

また、地区別の表記については検討させていただき、保育所・幼稚園の現状の地区別児童数ならば拾う事ができると思われまね。次回位の会議で地区別の表が出せれば用意させていただきたいと思えます。

会長 担当課より説明があったとおり、平成29年度は計画策定が平成27年度～31年度の5ヶ年の真ん中であり、それと29年度の終りでなく4月1日現在の数字のため、短い期間の動きを詳しく議論する事はあまり意味がありません。この29年度の状況を含めて見て行かないと、30年・31年にうまく繋がりません。もう少し時期を待っていただき、各地域の事は行政側で検討するという事でよろしいでしょうか。

委員 もう1点よろしいでしょうか。資料1 利用者支援事業についてですが、つなぎの窓口とお聞きしましたが、保健センターの母子担当の保健師さんが減っていますね。施設も減りましたね。大王保健センター、磯部保健センターがなくなり、阿児保健センターの保健師さんの内、母子担当の方が減りました。以前ならば、いろんな方(検診対象者)がいろんな地区(保健施設)でこまめにフォローされて予防接種のもれも少なかったです。今はとても少ない人数で志摩市全体を大雑把にサンライフあごの保健センターだけで把握されているので、

保健師さん達もこまめに回って行けないのが現状です。親御さんもどこへ相談に行けば良いのか分からないので、困って小児科にやって来られる方も増えています。

保健センターの数が減ってしまい、地域に相談する場所がないのならもういいかと思う方も多いのではないのでしょうか。

この相談窓口をもう少し市民の方々が使いやすいものへと作っていただきたい。トリアージ（患者を症状別に振り分ける）をする場所として。例えば最近の志摩病院の総合案内所（婦長さんが座っている場所）の様な形式も参考となります。検診のことならどこへ、保育所のことなどはどこへと、係まで案内してくれる所ができればありがたいです。

会長 貴重なご提案をいただき、ありがとうございます。

それでは次の資料 1 - 1 子育て家庭課の事業について何か質問はございませんでしょうか。

委員 各種相談業務について、児童家庭相談、女性相談等の件数はどの位ありますか。また、内容はこういった事が多いのでしょうか。

子育て家庭課 平成 28 年度の状況では、児童家庭相談（子どもの相談）が年間約 130 ～ 140 件程です。内容を大まかに分類すると、子ども虐待、子どもの育て方、子どもの発達障害の 3 種類が多い。子どもの相談の内、特に緊急度の高い件については、伊勢にある児童相談所とも連携して、いったん保護する事もあります。また、そこまで至らなくとも、お家の方々と子育てについて話し合いを持つと言った対応をしております。

女性相談については、主に DV（配偶者から受ける暴力）が多く、昨年度で約 20 件の相談がありました。特に DV を受けた後に、すぐに帰宅しては再発が懸念されるため、いったんシェルターに避難させてから今後の事を考えて行く。それについてお手伝いをさせていただいております。

母子・父子相談について多いのは、ひとり親家庭の仕事等の問題。また、離婚をする前に、どの様な制度があり、どんな補助が受けられるのかを知っておきたいとの相談を受けております。特に多いのは仕事関連が多く、ハローワーク（公共職業安定所）、社会福祉協議会とも連携しながら対応しております。

会長 ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

それでは次の資料 1 - 2 健康推進課の事業について担当課より説明してもらいましたが、これについて質問はございませんでしょうか。

今年も、前年度の事業をほぼ継承して行くといった内容となっております。

会長 よろしければ、次に資料 1 - 3 教育総務課、主に学校関係についてですが何かご発言があればお願いします。

委員 アレルギー症状がある児童のエピペン（対アレルギー緊急補助治療薬）の対象児童、使用履歴を各学校で把握していますか。また昨年度中に使用した内容や病院搬送した記録を作成していますか。私も 10 年位前、学校の囑託医をしておりました。

教育総務課 具体的な人数は把握しておりません。確認したうえで、対象者を把握し使用記録を作成する様に指導して行きたい。学校には対応マニュアルが配布されております。

委員 転校生を含め対象者を把握し記録を作る事で、アナフィラキシー（重篤なアレルギー反応）症状の発作が起きた際、安全に救急搬送するためにも記録を活用できると良い。特に陸路での長距離搬送は症状が悪化する要因となるため、ドクターヘリによる救急搬送も最近では普及してきました。安全かつスムーズに救急ドクターへ患者を渡すためにも記録を作成すると良いです。尊い人命を救うためにもお願いしたいです。

会長 ご意見ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

委員 学校給食に地場産品を積極的に取り入れてはどのようにでしょうか。志摩のふるさと給食が年3回では少ない気がします。

教育総務課 もう少し回数が多ければ良い訳ですが、給食費用から食材費を賄うため現在1食当り250～260円の食材費で提供しています。1回で3,000食を作るため、食材を大量に供給できる生産農家が少なく（小規模農家が多い）、JAさんに協力してもらっていますが、給食用に大量に確保できる食材は種類が限られて来るのが現状です。また、志摩産の食材（主に海産物）の単価は、よその地域と比較し高い物が多いのも一因です。

委員 給食のメニューをホームページに載せてはいかがですか。子どもの体質によって食べない方が良い食材かどうか事前に分かる。また、食材を寄付してもらえ生産者を募ってはどのようにでしょうか。

会長 この様な提案があるという事で担当課は検討してみてください。

会長 次に資料1-4学校教育課の事業について何か質問はございませんでしょうか。

委員 私は就学指導委員会にも所属していますが、発達の問題を抱える子どもさんには、いろいろ加配の先生方が付いて下さっています。年々予算が縮小され、いつまで付かせてもらえるか分からないと聞きます。
ぜひ、色々な体験授業、折り紙教室もすごく大切ですが、実際問題として子ども達が困っているのは学習障害が多く、算数の数字の扱いに困っていると、お友達との関係で心理的な苦しみから校内で暴れてしまうとか、子ども達が困っている事をピックアップして、そういった部分をフォローできる様なシステム、あるいは場所を作っていただきたいと思います。
算数なんかでも子ども達が割り算を理解できないまま学年を上がり、学習障害のストレスから心因性の疾病を発病するケースもありました。
子ども達の人数も少なめになってきていますから、きめ細やかな事をピックアップして何か対策を考えてあげてください。

会長 これも提案ですね。ありがとうございます。他にありませんでしょうか。

委員 職場体験授業についてですが、すごく良い事だと思いますが、配属された事業所によっては、アルバイトに似た小間使いで終わってしまったケースもあると

聞きます。職場体験の授業が有意義となるためにも、受入れる側と連携しプログラムを作ってみてはいかがでしょうか。

学校教育課

わかりました。ご意見ありがとうございます。

会長

それでは資料1 - 5 生涯学習スポーツ課の事業についてはどうでしょうか。

放課後子ども教室とか色々な取組みがあり、防犯のパトロール等もあり活動は幅広いですね。ご意見等ありましたらどうぞ。

委員

青少年を対象とした防犯パトロールですが、青色回転灯が点灯する自動車で回るだけでは、子ども達と会話したり接したりする事ができない。子ども達が出歩く時間帯には、歩いて直接子ども達と話してもらいたいです。

会長

これもご提案ですね。他はどうでしょうか。

大体の事業の実績を担当課から説明を受け、委員の方々からご意見・ご提案をいただきました。今後の事業計画に活かして行くように努力したいと思います。

会長

それでは次に事項書の議事（2）東海小学校内に来春開設する放課後児童クラブの名称を決めていただきたいという事です。

第1案 東海放課後児童クラブ

第2案 東海小放課後児童クラブ

どちらがよろしいでしょうか。また、説明が必要であれば事務局に説明を求めます。

委員

子ども達に名前を募集し、投票で決めてもらってはいかがでしょうか。

各小学校でアンケート用紙を配布し、候補を選び生徒の投票で決めてはどうでしょうか。

会長

他の委員さんはいかがでしょうか。

委員

私もその意見も良い様に思います。子ども達が名前を選ぶ事も、ひとつの選択肢としてあっても良いと思います。

会長

具体的にはどの様にするのでしょうか。

委員

学校で生徒に聞くんですよ。先生方をお願いして、アンケート用紙を渡して、家に持ち帰って記入してもらおう。

会長

どなたか、学校関係の方はいらっしゃいませんか。小学校で、それは可能なんではないでしょうか。

委員

はい、小学校は今5校（立神・志島・甲賀・国府・安乗小学校）あります。やるならば、5校の小学校の先生達にお願いをして、子ども達からアンケートを取る形になります。

会長

大変でしょうか。

委員

大変かな。

会長

2名の委員さんのおっしゃる意味は良く分かってはいるんですが、実際にどうするかと言う問題も出てきます。時間的な余裕は大丈夫でしょうか。

私が聞いていたのは、この会議の場で決めてもらいたいと聞いておりましたが、どうでしょうか。

事務局 この2案を出させていただいたのは既に小学校の名称（東海小学校）は決まっております。他の市内にある放課後児童クラブなり児童館の名前を取っても、地区名に根ざした名称が付いているのが現状です。今も委員の方から、小学校の子ども達に聞いて名前を付ける意見もいただいているんですが、そこまでの時間と経費をかける事が難しい。単体でどこかに建てて、新たに名前を付けるのなら、そういった名前の決め方もできるでしょうが、例えばキラキラ放課後児童クラブとか。しかし、小学校の敷地内に建設する施設であるため、無関係の名称を付ける事は馴染まないの、学校の名前から取った放課後児童クラブの名前でどうだろうかと考えられるため、事務局としては候補を上げさせていただきました。

会長 この様な事務局の説明ですが、いかがでしょうか。何かもっとご意見があればどうぞ。

委員 例えばですが、緊急な家庭の事情があって、夏休み期間中に子どもを預けたい場合、校区が違って受け入れが可能か。また、小学校の名前が付いていると、その小学校の生徒しか預かってもらえない様なイメージに繋がらないでしょうか。

会長 事務局は、どうでしょうか。

事務局 別に施設名は名前であって、例えば神明の児童館に鷺方地区の子ども達が通っているケースもあるので、施設名で壁を作っている訳ではありません。保護者から預けたい旨の相談を受けたら、そういった説明はさせてもらっています。

委員 よろしいですか。子ども達は、今の小学校からすごいストレスを持って今の学校と来春お別れして行くんですよ。何かひとつ位子ども達の希望を聞いてはどうでしょう。

会長 今2つの案が出ておまして、1つめは事務局案の地域の小学校に関連した名称を付ける。2つめは、子ども達の意見を聞いて決める。委員の方々に決めていただきたいため、賛成する方に挙手をして下さい。
それでは、1つめの案に賛成される委員は挙手願います。
挙手多数と見なし1つめの案（小学校に関連した名称）で進めさせていただきます。
小学校に関連した名称の内、第1案 東海放課後児童クラブ、第2案 東海小放課後児童クラブ(小の1文字が入る)から選んでいただきます。
第1案が良いと思われる委員の方は挙手をして下さい。
ありがとうございます。圧倒的に第1案が多いと見なされるため、この委員会は第1案 東海放課後児童クラブに決定いたします。よろしいでしょうか。

委員一同 異議なし。

会長 それでは、その他何かございますか。

事務局 ありがとうございます。色々なご意見をいただき事業計画の中間年にあたって、達成度を数値化するについて、どの様に出すべきかと福祉事務所長も加わって

いただき協議しております。

表示の方法は未定ですが、また個々の事項だけになるかもしれませんが、第2回目、第3回目の会議には中間年として、成果の達成度が判る様なまとめを出して行きたいと考えております。

会長

少し補足をします。前回の会議の時に私の方から、できるだけ達成度の判る様な表記をして欲しいとお願いした事に対して答えてもらいました。ABC とかの記号や数値で示す方が、どれだけ事業計画が進捗しているのかが判りやすいと言うことのご回答をいただきました。達成度が判る事によって皆様と次回は議論して行きたい。

次回は、それぞれの委員の方々のご発言を期待しております。積極的なご意見を聞かせていただきたいと思います。それでは、今度の開催は何月頃の開催になりますか。

事務局

次回開催については、11月か12月あたりに第2回目はなろうかと考えております。

会長

11月か12月との事ですので、委員の皆様にはご協力をお願いします。志摩市の子ども達が幸せな生活を送って行ける、毎日充実した生活を送れるように支えて行く事は、大人に責任があるわけですから、ぜひ皆様のご協力をいただきたいと思います。

長い時間ありがとうございました。また次回よろしくをお願いします。

これで閉会します。

事務局

ありがとうございました。